

研究会開催通知

(昭和55年10月15日～11月30日)

研究会	日	時	会場	備考
人工知能と対話技法	10月17日(金)	13:00～17:00	豊橋技科大	前号参照
記号処理	10月17日(金)	13:00～17:00	電総研	同上
電子装置設計技術	10月21日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
計算機システムの解析と制御	10月24日(金)	9:30～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	11月12日(水)	13:00～17:00	サンシャイン・シティ文化会館	下記参照
データベース管理システム	11月13日(木)	14:00～17:00	第32森ビル	同上
ソフトウェア工学	11月17日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
医療情報学	11月21日(金)	10:00～17:00	同上	同上
計算機システムの解析と制御	11月28日(金)	13:30～17:00	同上	同上

◆ 第9回 コンピュータビジョン研究会

(主査: 福村晃夫, 代表幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

- 日時** 昭和55年11月12日(水) 午後1時～5時
- 会場** サンシャイン・シティ文化会館 7階6号室
〔東京都豊島区東池袋 3-1-4, 国電: 池袋駅下車徒歩約10分, 地下鉄: 有楽町線東池袋駅下車すぐ, Tel. 03(989)3470〕
- 議題** 特集「パターン情報処理システム」
- (1) カラー航空写真による土地利用解析 辻 透一(三菱電機)
 - (2) 高速処理機能をもった会話型画像処理システムとその応用
木戸出正継, 篠田英範, 沢田順夫(東芝)
 - (3) 物体認識システム 鳥野 武(日立)
 - (4) 総合システム・プロトタイプの概要説明, 映画, 見学
- 〔概要〕 通産省の大型プロジェクト「パターン情報処理システムの研究開発」が昭和55年度で終了する。今回の研究会は、このプロジェクトの研究成果のうちコンピュータビジョンに関連深いものに焦点をあてた。委託研究のうち、「色彩図形認識システム」、「濃淡図形認識システム」、「物体認識システム」についての研究発表または概説計3件を行う。続いて、このプロジェクトの総合システムについての概要説明と紹介映画の上映を行う。最後に、近接のサンシャイン60の25階にある同プロジェクトの技術研究組合・共同研究所へ移り、特に上記3システムを重点的に見学する。

◆ 第 22 回 データベース管理システム研究会

(主査：穂鷹良介，代表幹事：植村俊亮)

日 時 昭和 55 年 11 月 13 日 (木) 午後 2 時～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室

〔東京都港区芝公園 3-4，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，都営 6 号線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分，東京タワー向い，Tel. 03 (591) 1351 (大代表)〕

議 題 (1) INQ による音声情報データベース試作

小玉邦子，高橋 理 (東北大・大型計算機センター)

〔概要〕 INQ を用いて，音声情報の DB 化を試みた．そのインタラクティブ・ラボラトリ・システムへの適用について検討する．

(2) 地域計画のための地理的・社会的データベース

松家英雄，宇土正浩，杉本和敏 (日本アイ・ビー・エム)

〔概要〕 土地利用計画，交通計画および土木計画に焦点を合せた地理的・社会的データベースの実働化について紹介する．

(3) リレーショナル・データベースにおける多値従属の推移規則の問題点に関する考察

中村史朗 (日立)，Peter P. Chen (UCLA)

〔概要〕 多値従属に関し，意味的な面からの考察を行い，主に推移規則の持つ問題点について述べる．

◆ 第 16 回 ソフトウェア工学研究会

(主査：國井利泰，代表幹事：大野侑郎，原田賢一，斉藤信男)

日 時 昭和 55 年 11 月 17 日 (月) 午後 1 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，都営 6 号線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) DF-COBOL 明光松樹，石田秀信，大西通雄 (三井造船)

〔概要〕 データ・フローの考え方を応用して開発した事務処理用の言語 DF-COBOL について紹介する．

(2) 機能テストのためのテスト項目作成手法について

古川善吾，野木兼六 (日立・シス研)

〔概要〕 形式的に表現された機能試用から，機能テストのためのテスト項目を系統的に作成するための手法について述べる．

(3) Steps のプログラミング技術とそのツール

東 基衛，三野村圭右，紙谷 進，高橋雅昭 (日電)

〔概要〕 ソフトウェア開発の標準化システム Steps のなかの，プログラム設計，パターン化および試用化技術，ならびにその対話型ツール ISDT の紹介．

- (4) 流れ木 Flow tree による手続きとデータ型の記述
 夜久竹夫(東海大・理), 二木厚吉(電総研), 足立暁生(日本アイ・ビー・エム)
 [概要] 木構造型フローチャート的一种である流れ木 Flow tree による手続きと, データ型(データ構造)の記述法を導入する. PASCAL の処理系を
 手続き, 文法構造をデータ型のそれぞれ例としてとり上げる.

◆ 第7回 医療情報学研究会

(主査: 大島正光, 代表幹事: 稲田 紘, 溝口文雄, 開原成允)

- 日時 昭和55年11月21日(金) 午前10時~午後5時
 会場 機械振興会館 地下3階1号室(所在地は前記参照)
 議題 医療と知識工学
- (1) AI in Medicine 辻 三郎(阪大・基礎工)
 (2) 知識工学の基礎 瀧 一博(電総研)
 (3) 医療知識工学の道具だてと事例研究
 開原成允(東大病院), 溝口文雄(東理大・理工), 小山照夫(都老研)
 (4) Résumé on Dealing with Uncertainty/
 Ambiguity in Conjunction with Knowledge Engineering
 田中幸吉(阪大・基礎工)
 (5) 計算言語学の医学への応用 長尾 真(京大・工)
 (6) マイクロコンピュータによる診断システム 上野晴樹(電機大・理工)
 (7) 知識データベースについて 堂下修司(京大・工)
 (8) AIM & AAI 会議に出席して
 溝口文雄(東理大・理工), 開原成允(東大病院)
- [概要] 医療における知識の利用方法を中心に展開される知識工学について, その基礎をさぐり, また, 種々の道具だてを概観する. さらに, 具体的な応用事例に触れ, 知識工学の有効性について, いくつかの境界領域, たとえば, 計算言語学, 認知科学等の係り合いの中で議論する.
- ※ 今回の研究会は人工知能と対話技法とも関連がありますので, 興味のある方はご参加下さい.

◆ 第11回 計算機システムの解析と制御研究会

(主査: 高橋延匡, 代表幹事: 亀田壽夫, 益田隆司)

- 日時 昭和55年11月28日(金) 午後1時半~5時
 会場 機械振興会館 地下3階1号室(所在地は前記参照)
 議題 (1) 機能分散型マルチプロセッサ構造を有するオンラインデータベースシステムの性能特性
 近藤康男(日電)
 [概要] オンラインデータベースシステムを, 機能分散型マルチプロセッサにて実現する場合の応答性について, クローズドキューイングモデルにて解析したので報告する.
 (2) 関係データベース専用オペレーティングシステムの構成
 大久保英嗣, 津田孝夫(京大・工)

〔概要〕 関係データベース管理システムをデータベース専用機のオペレーティングシステムとして、構成する場合の構造と問題点を論ずる。

(3) プログラム動作モデルに関する一提案

Tong-Haing Fin (東工大・総合理工)

益田隆司 (筑波大・電子情報工学)

〔概要〕 原始プログラムの構造とプログラム実行時のアドレス参照列を関係づけることにより、プログラムの局所参照特性に関する新しいモデルを提案する。

◆ コンピュータビジョン研究会

今回は、56年1月に国立民族学博物館（大阪・万博記念公園内）にて開催の予定です。電子通信学会・パターン認識と学習研究会と協同で、同博物館の画像処理システムその他を見学します。発表希望者は、11月5日までに学会事務局までお申込み下さい。

◆ 分散処理システム研究会

12月9日（火）大阪阪急ターミナルビル14階で午後1時より開催予定です。なお、同日午前には同所にて電子通信学会・電子計算機研究会が開かれる予定です。詳細は次号に掲載いたします。

「情報処理叢書」の頒布について

本欄にて会告してきましたように、本叢書4冊が発行されました。希望者は送金方法および送付先明記のうえ、できるだけ早目に、一括してご注文ください。（非会員はオーム社書店扱いですので最寄りの書店へ申込みのこと。）

(1)

書名	著者名	頁数	会員特価	(定価)
データベースマシン	植村俊亮・前川 守	170	1,500円	(1,900円)
データベース理論	有澤 博	104	1,200円	(1,500円)
コンピュータネットワーク技術	猪瀬 博監修 苗村憲司・田畑孝一・浅野正一郎	114	1,200円	(1,500円)
医療情報学	開原成允・稲田 紘	192	1,500円	(1,900円)

* 10月1日より小包郵便物の料金改定に伴い、叢書の送料を下記のようにいたします。

冊数	1冊	2~3冊	4冊	5~6冊
送料	300円	350円	400円	500円

(2) 申込先 情報処理学会「情報処理叢書」係

(3) 払込口座 振替口座 東京 5-83484

銀行口座	三菱(普)	030-0000608	各虎ノ門支店
	第一勧業(普)	1013945	
	住友(普)	40879	
	富士(普)	993632	
	三井(普)	4298739	

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判

(2) 純学術研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。

(i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note (2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い, 1行65ストローク, ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し, パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で, 欧文誌刷上り8ページに当る。なおお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は斜体(イタリック)となる。

(2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paper のアブストラクト——200語以内

(ii) Short Note のアブストラクト——50語以内

(3) 図表(写真を含む)は, 完成図(そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

(4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

(1) コピー4部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

情報処理学会第 22 回全国大会について

— 概要と論文募集 —

全国大会を 56 年から年 2 回春、秋に開催することになり、第 22 回全国大会は前回大会よりさらに 2 カ月早く開催します。論文発表を希望される会員は、下記要領により、早目にお申込みください。

開催期日 昭和 56 年 3 月 24 日(火)～26 日(木)

会 場 学習院大学 (東京都豊島区目白 1-5-1)

応募資格 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります。共同発表の場合には、登壇発表者は会員でなければなりません。ただし、登壇発表は本大会中 1 人 1 回に限ります。また、発表は日本語または英語で行うものとします。なお、55 年度会費未納の会員は、登壇発表ができません。

申 込 料 不要です。ただし、登壇発表される方は、論文集原稿を提出する際に、必ず参加費を納入してください。

申込方法 添付の講演申込用紙(1 件 1 枚)に必要な事項を記入し、宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさ A4 判…21 cm×30 cm のもの。切手は不要)を同封のうえ、**55 年 11 月 25 日(火)**までに(必着)、下記申込先へお送りください。

論文提出 所定の原稿用紙を 12 月下旬に送付しますので、昭和 56 年 2 月 2 日(月)までにご提出ください。用語は日本語または英語に限ります。

そ の 他 詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。

申 込 先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室
(社)情報処理学会 第 22 回全国大会係 電話 03(431)2808

講演内容

1. 基 礎
(計算理論, アルゴリズム, プログラム理論, その他)
2. アーキテクチャおよびハードウェア
(システムアーキテクチャ, 演算装置, 記憶装置, 入出力装置, 端末装置, 性能評価, 信頼性, 保守技術, マイクロプログラミング, その他)
3. ソフトウェア
(オペレーティングシステム, プログラミング言語, 言語処理, 性能評価, 信頼性, ソフトウェア工学, その他)
4. データベース
(データベースマシン, データマネジメント, 分散データベース, 性能評価, 情報検索, その他)
5. コンピュータネットワークおよび分散処理
6. パタン処理および人工知能
(文字・図形・音声・自然言語の処理, ロボット, その他)
7. 数値計算
8. マイクロコンピュータ
9. 日本語処理
10. オフィスシステム
11. 技術, 産業, 経営への応用
(CAD, CAM, グラフィックス, ビジネスシステム, その他)
12. 社会システムへの応用
(医療, 教育, 交通, 社会モデル, その他)
13. その他

情報処理学会第 22 回全国大会講演申込用紙

題 目(注1)	
ふりがな 氏 名(所属)(注1)	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演する方に○をつけて下さい。
講演者会員番号	
原稿用紙送付先	(所在地) 〒 (氏 名) <div style="text-align: right;">Tel.</div>
(注2) 該当項目	講 演 内 容 (概要 300 字程度)
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
6.	
7.	
8.	
9.	
10.	
11.	
12.	
13.	

(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。

(注2) 申込要領を参照し○をつけて下さい。該当項目が複数にわたる場合は、最も適合するもの1つに◎をつけて下さい。